４ｓｔ.Ｄｉｏ（ＡＦ６２）バーハンドルフルキット　取扱説明書

商品番号：０６－０２－０３０１
適応車種：Ｄｉｏ
車体番号：ＡＦ６２－１０００００１～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、車体番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

バーハンドルキットについて

◎取り付けには一部配線の加工が必要になります。
◎ウインカーの取り付けに、フロントカバーの穴あけ加工が必要になります。
◎当製品を使用してバーハンドル化するには下記の当社製品、ホンダ純正部品を別途購入して組み付けて下さい。
◎ノーマルのメーターＡＳＳＹ.を取り外す為、フュ－エルメーターが無くなります。
必要であれば、当社製オプション（別売）のフュ－エルメーターキット（０９－０１－２０１０）若しくはコンパクトＬＣＤフュ－エルメーターキット（０７－０４－００１９）をご使用下さい。
◎ハンドル、ヘッドライトはキット付属品以外の使用は自己責任で行なって下さい。

ホンダ純正部品
　Ｔｏｄａｙ用
　　スイッチセット、ウインカー（３５０２０－ＧＦＣ－８９０）個数１
　　ソケットＣＯＭＰ.、ヘッドライト（３３１３０－ＧＦＣ－８９０）個数１

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

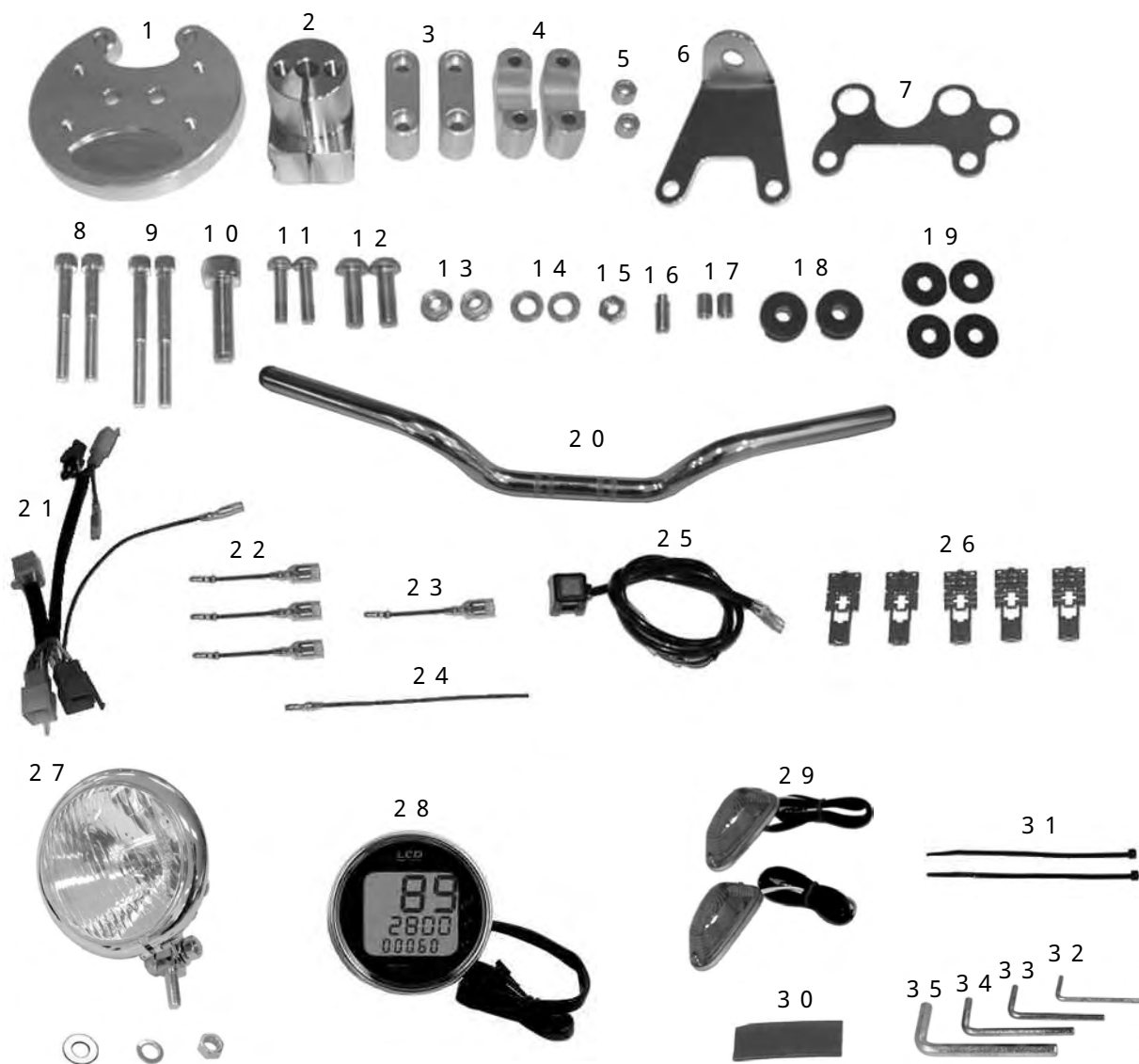
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告　下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Feb./27/ 06

～商　品　内　容～

番号	部　品　名	個数	番号	部　品　名	個数
１	ハンドルポスト１	１	１９	プレーンワッシャ（黒）	４
２	ハンドルポスト２	１	２０	ハンドル	１
３	ハンドルアッパーホルダー	２	２１	サブハーネス	１
４	ハンドルロワーホルダー	２	２２	サブコード（緑）	３
５	カラー	２	２３	サブコード（黒）	１
６	ヘッドライトステー	１	２４	フューエルメーターコード	１
７	スピードメーターステー	１	２５	スタータースイッチ	１
８	ソケットキャップスクリュー　６×５０	２	２６	エレクトロタップ	５
９	ソケットキャップスクリュー　６×６０	２	２７	ヘッドライトＣＯＭＰ．	１
１０	ソケットキャップスクリュー　１０×３５	１	２８	メーターＡＳＳＹ．	１
１１	ボタンヘッドスクリュー　６×２５	２	２９	ウインカーレンズ（クリアレンズ）	２
１２	ボタンヘッドスクリュー　８×２５	２	３０	熱収縮チューブ	１
１３	フランジUナット　６mm	２	３１	タイラップ　１００mm	２
１４	プレーンワッシャ　６mm	２	３２	Ｌレンチ　３mm	１
１５	ロッカクナット　６mm	１	３３	Ｌレンチ　４mm	１
１６	ハンドルポストピン	１	３４	Ｌレンチ　５mm	１
１７	メーターマウントカラー	２	３５	Ｌレンチ　８mm	１
１８	メータークッションラバー	２			

～取　り　付　け　要　領～

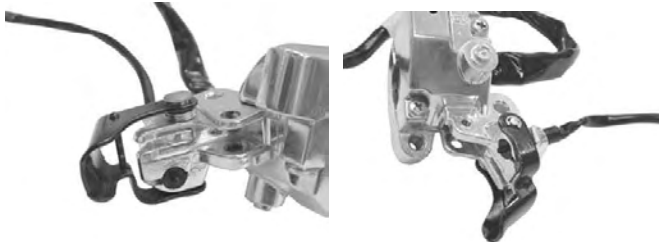
１．キット内容を確認します。

２．作業に適した工具を用意します。

３．センタースタンドを使用して車体を確実に支えます。

４．ホンダ純正サービスマニュアルを参照して以下の部品を取り外します。
- ・フロントカバー
- ・ハンドルフロントカバー
- ・ハンドルリヤカバー
- ・ステアリングハンドル

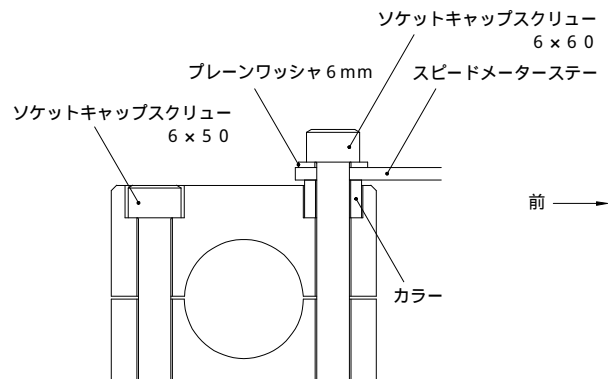
５．取り外したステアリングハンドルからスロットルハウジング、ハンドルブラケットＬ．、ハンドルグリップＬ．等を取り外します。

６．ＳＴＤのハンドルブラケットＬ．から下記の部品を取り外し、別途用意したウインカースイッチに付け替えます。
番号は取り外しの順です。取り付けは取り外しの逆手順で行って下さい。
①Ｅクリップ
②パーキングレバーピボットピン
③パーキングレバーＣＯＭＰ．
④レバーリターンスプリング
⑤ロッカクナット
⑥ワッシャ
⑦スプリング
⑧ハンドルレバーピボットスクリュ
⑨リヤブレーキレバー
⑩リヤブレーキケーブル
⑪ストップスイッチ
※取り付け時、ピボット部分にはグリスを塗布して下さい。

７．キット内のハンドルポスト２にハンドルポストピンを取り付けます。この時、ピンの先端がわずかに内側に出る程度まで入れておきます。

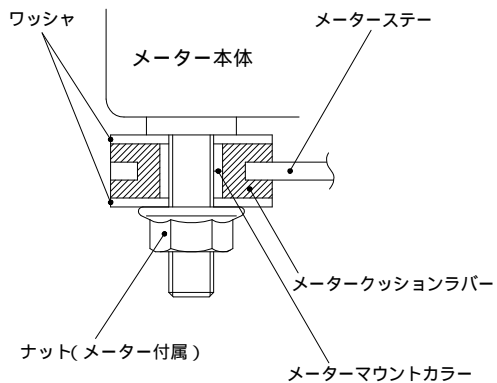
８．ハンドルポスト２をピンとステムシャフトの溝の位置を合わせて取り付けます。
ピンを軽くねじ込んだ後、ロッカクナット６mmを使用してピンをロックします。
ソケットキャップスクリュー１０×３５を取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：３５Ｎ・ｍ
（３.５ｋｇｆ・ｍ）

９．ハンドルポスト１をボタンヘッドスクリュー８×２５を使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：２２Ｎ・ｍ
（２.２ｋｇｆ・ｍ）

１０．キット付属のハンドルパイプを仮付けして、ハンドル取り付け角度、スロットルハウジング、ウインカースイッチの取り付け位置を決定します。
※スロットルハウジング、ウインカースイッチのクランプ部には位置決め用の突起が有ります。取り付ける場合は、その突起を削り取るか、ハンドルパイプに穴を開けて下さい。
※取り付け位置の決定は慎重に行って下さい。

１１．ステアリングハンドルパイプをハンドルホルダーにセットし、ハンドルポストに取り付けます。この時ハンドルアッパーホルダーフロント側のザグリ部にキット内のカラーを入れ、スピードメーターステーを同時に取り付けます（図参照）。ハンドルの角度を調整してソケットキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）
※ハンドルホルダーは前後の隙間が同じになる様に締め付けて下さい。

１２．ＳＴＤのハンドルパイプから取り外したスロットルハウジング、ハンドルグリップＬ．等を取り付けます。
スロットルケーブル、ブレーキホース及びブレーキケーブル等はハンドルポスト前部を通して取り回して下さい。

１３．ヘッドライトステーをボタンヘッドスクリュー６×２５、フランジＵナット６mmを使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

１４．キット付属のスピードメーターをステーに固定します。取り付けは、ラバーマウントで取り付けますので図を参考に行なって下さい。

１５．ヘッドライトをヘッドライトステーに取り付け、ライトの位置決めをしてボルト及びナットを締め付けます。
トルク：２５～３０Ｎ・ｍ（２.５～３.０ｋｇｆ・ｍ）

１６．このキット付属のヘッドライトを使用する事を前提としております。キット付属のヘッドライトステーにヘッドライトを取り付け、ライトの位置決めをしてボルト及びナットを締め付けます。
トルク：２５～３０Ｎ・ｍ（２.５～３.０ｋｇｆ・ｍ）

１７．このキット付属のエアロウインカーをノーマルのフロントカバーに取り付けて使用する事を前提としております。その為、フロントカバーに配線を通す加工が必要になります。
ウインカーの取り付け位置、配線を通す箇所を確認し、フロントカバーの一部を棒ヤスリ等で削るか、φ５程度の穴を開けます。（写真は取り付け例です。）

ハーネスの取り付け

～サブハーネス～

１．ウインカースイッチから出ているハーネスの接続部をヘッドライトケース内に収めます。

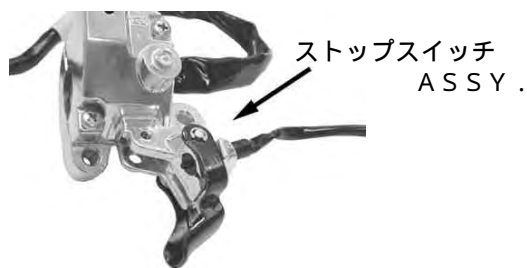
２．残りのハーネスを他のケーブル類と同じように車体のフロントカバー内側に取り回します。

３．キット内のサブハーネスを使用して車体のメインハーネスの９Ｐカプラ２個とウインカースイッチ側の９Ｐカプラを接続します。
注意：カプラを間違って接続しないよう注意して下さい。

～スタータースイッチ～

スタータースイッチをハンドルパイプに取り付け、ハーネスを他のケーブル類と同じように車体のフロントカバー内側に取り回します。

～ストップスイッチ～

１．ウインカースイッチにノーマルから取り外したフロントストップスイッチＡＳＳＹ．を取り付けます。

２．ウインカースイッチから出ている黒、緑／黄のコードのギボシにストップスイッチの同じ色同士のギボシをそれぞれ接続します。

～ヘッドライト～

このキットは当社製ベーツタイプヘッドライトを使用する事を前提としております。

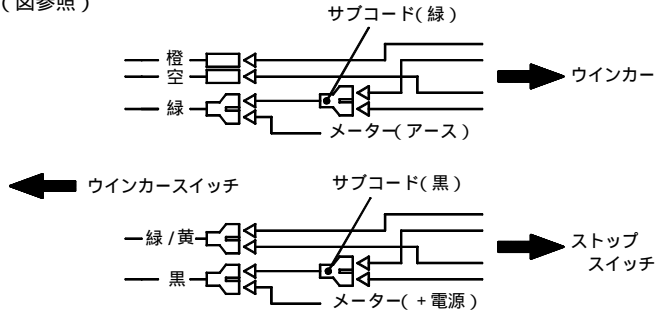
１．ベーツタイプヘッドライトに付属しているソケットを取り外し、別途用意したソケットＣＯＭＰ．に交換します。

２．ウインカースイッチから出ている青、白、緑のコードのギボシにソケットＣＯＭＰ．の同じ色同士のギボシをそれぞれ接続します。

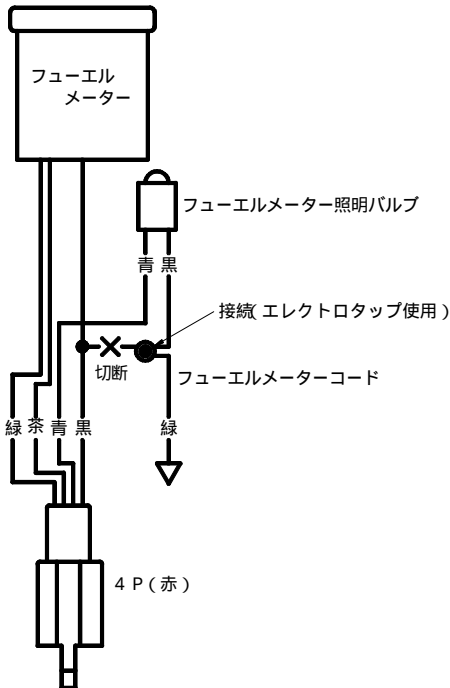
～ウインカー～

このキットは当社製エアロウインカーを使用する事を前提としております。
右側、左側に使用するウインカーのギボシをそれぞれ接続します。
右側：空
左側：橙
アース：緑
※エアロウインカーには極性は有りません。

～スピードメーターの配線について～

このキットは当社製スピードメーターを使用する事を前提としております。
スピードメーターの電源はウインカースイッチから出ているコードに接続します。
＋電源配線を黒に
アース配線を緑に
それぞれ接続して下さい。
接続はエレクトロタップを使用するか、端子（ギボシ）を自作して下さい。
ギボシで接続する場合は、キット内のサブハーネスを使用して配線を分岐させて下さい。
（図参照）

～フューエルメーター～

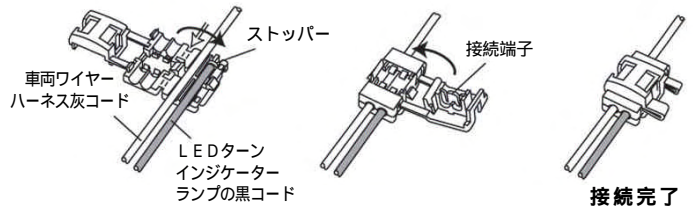
このキットは当社製フューエルメーターキットを使用する事を前提としております。

１．フューエルメーターＡＳＳＹ．裏側のカバーを外し、図のように配線を加工して下さい（キット内のフューエルメーターコード（緑）をエレクトロタップを使用して接続します）。
※切断した部分には絶縁処理をして下さい。

※コンパクトＬＣＤフュ―エルメーターを使用する際は説明書を参考にして下さい。

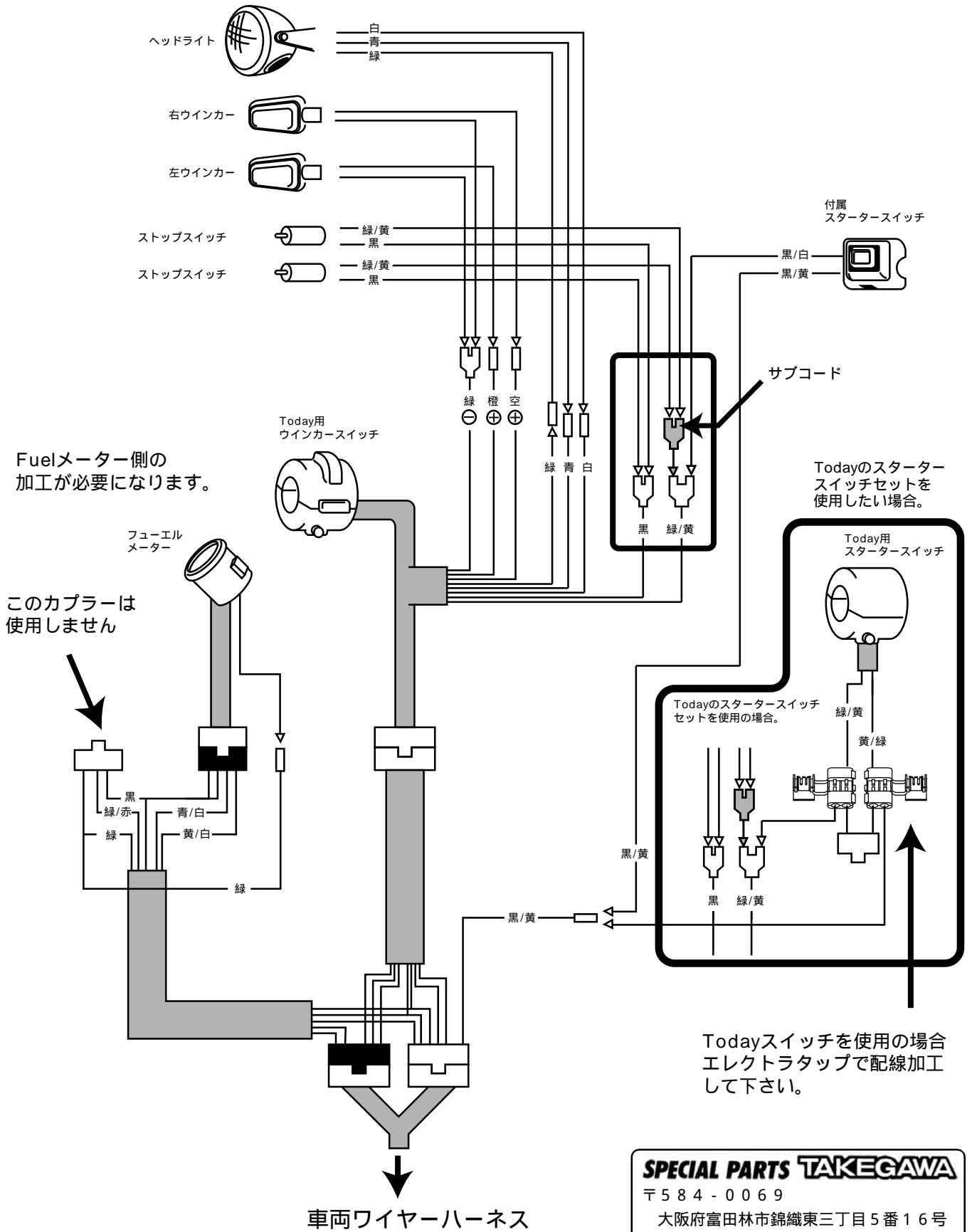
２．加工出来たら再度、カバーを取り付けます。

３．フューエルメーターの４Ｐカプラ（赤）、フューエルメーターコードのギボシをサブハーネスの４Ｐカプラ（赤）、ギボシとそれぞれ接続します。

全ての部品を組み付けた後、風通しの良い場所でエンジンを始動し、各部が正常に作動するかを確認します。
正常に作動しない場合は、バルブ切れやコードの接続不良等が考えられますので再度確認をして下さい。

エレクトロタップの接続方法

①接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし（ＬＥＤ側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。）

②⇒部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

③次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

～接　続　図～
ヘッドライト
白
青
緑
右ウインカー
左ウインカー
ストップスイッチ
緑/黄
黒
ストップスイッチ
緑/黄
黒
付属
スタータースイッチ
黒/白
黒/黄
サブコード
緑
橙
空
緑
青
白
黒
緑/黄
Today用
ウインカースイッチ
※Fuelメーター側の
加工が必要になります。
フューエル
メーター
※このカプラーは
使用しません
黒
緑/赤
緑
青/白
黄/白
緑
Todayのスターター
スイッチセットを
使用したい場合。
Today用
スタータースイッチ
Todayのスタータースイッチ
セットを使用の場合。
緑/黄
黄/緑
黒/黄
黒/黄
黒
緑/黄
※Todayスイッチを使用の場合
エレクトラタップで配線加工
して下さい。
車両ワイヤーハーネス
SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒584－0069
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp

αタイプ追補

ラージLCDメーターαのタコメーター設定について

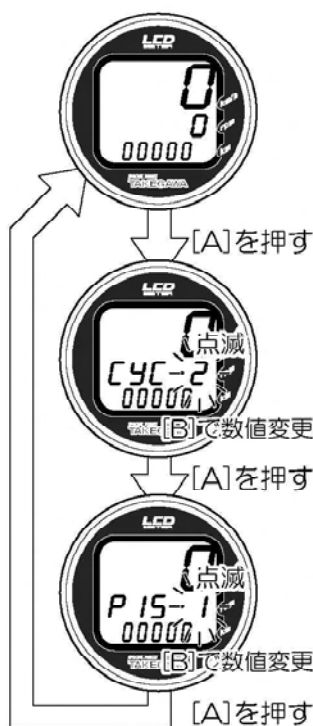
本ページは各種キット共通内容となっております。
お客様のバイクに合わせた値にメーター設定値を切り替えて下さい。

車名	商品番号	CYC-	PIS-
マグナ50	09-01-0211	2	1
ズーマー（キャブレター車）	06-02-0202/09-01-0056	2	1
TODAY（キャブレター車）	06-02-0303	2	1
AF62 ディオ	06-02-0301	2	1
スペイシー100	06-02-0305	2	1
ディオ（2サイクル）	06-02-0302	2	1
JOG（2サイクル）	06-02-0304	2	1
XR50/100モタード	09-01-0288	2	1
XR250モタード	09-01-0055	2	1
KSR110	09-01-0054	2	1
KSR50/80	09-01-0054	2	2

タコメーターの設定変更手順

数値変更ボタン(文章中[B]ボタン)
設定項目切り替えボタン(文章中[A]ボタン)

車両のメインキーをON（車輌によってはエンジンを始動）にし、メーターの電源が入った状態（液晶表示がある）にしてください。

[A]を押す

[A]のボタンを押します。
画面に「CYC-」という表示が出ます。
この時、[B]のボタンを押す度に˝CYC-2˝⇔˝CYC-4˝と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択してください。
˝CYC-˝の選択が完了しましたらもう一度[A]ボタンを押してください。

[A]を押す

点滅
PIS-1
[B]で数値変更

画面に「PIS-」という表示が出ます。
この時[B]のボタンを押す度に˝PIS-˝の右側の数表示が変わります。
上記で˝CYC--2˝を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒・・・・となります。
また˝CYC-4˝を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒1・・・・となります。
ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

[A]を押す

すべての設定が完了し、[A]ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に戻ります。

エンジン種類[CYC-]、気筒数[PIS-]について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転辺りの発火回数を表すための例えです。
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回
CYC-2　(2サイクルエンジンの例え)		PIS-1		PIS-2		PIS-3	PIS-4
CYC-4　(4サイクルエンジンの例え)	PIS-1	PIS-2	PIS-3	PIS-4	PIS-5	PIS-6	PIS-8

(PIS-は気筒数の例え)

●ご自分のバイクの発火回数が分からない時
エンジン種類は[CYC-2]固定で、まず気筒数を[PIS-4]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。
気筒数[PIS-4]では大抵実際よりも少なく表示されますので、様子を見ながら PIS-3 → PIS-2 → PIS-1 と数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイプ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[CYC-2、PIS-1]となります。
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火[CYC-2、PIS-2]の場合があります。